

**グローバル COE 招聘外国人報告書**  
(受け入れ教官が記入して提出してください)

拠点リーダー 川合光 殿

(受け入れ教官)

受け入れ教官の 氏 名	一本 潔	職	所属教室 研究室
		教授	附属天文台、飛騨天文台
Tel,Fax,e-mail	0578-86-2311, 0578-86-2118, ichimoto@kwasan.kyoto-u.ac.jp		

(招聘者)

披招聘者の 氏 名	金 甲星	職	国、所属機関
		教授	韓国、キョンヒ大学
Tel.Fax.e-mail	82-31-204-2445, 82-31-204-2445, kskim@khu.ac.kr		
滞在期間	自 2008年 10月 27日 ~ 2008年 12月 31日		
談話会	題名: <b>Lecture on Non-LTE Radiative Transfer (Basics)</b>		
	日時: 2008年 12月 5, 12, 19日、各 15:00 - 17:10		
	聴衆数: ~10		

実際に行った研究活動、成果など簡潔に記述してください。

金教授は数回にわたる非局所熱平衡輻射形成・輸送の問題に関するレクチャーをおこない、主として宇宙物理・天文台の大学院生に天文学の基礎である分光プラズマ診断の手法を解説した。また太陽研究分野の大学院生・教員とはお互いの研究や研究グループの紹介及び議論をおこない、今後の両大学間の協力関係推進のための礎を築いた。研究面では飛騨天文台のドームレス太陽望遠鏡で取得された CaII H&K と水素 H 線同時スペクトルデータを用いて、太陽のプロミネンスやスピキュールを形成するプラズマの物理状態の導出を目的とした解析を実施した。具体的には CaII K と H 線強度とその輪郭を、非局所熱平衡における輻射形成理論による計算値をフィットすることにより、電子密度、原子の励起温度、輻射場の 2 次元的な分布を求める。またひのでの高解像データからは、これらの現象のダイナミクスに関する情報を引き出し、前者と合わせてそのメカニズムを解明しようとするものである。解析は京大グループと共同の元に尚進行中であり、結果がまとまった時点で学会等で発表していく予定である。